

乳幼児用ベッドの内外の表示要求の比較と改正案

現行 SG 規準	欧米基準	改正案
(表示) 1. 製品には容易に消えない方法で次の事項を表示すること。ただし、(2)を除く項目については、前枠又は妻枠の外見の見やすい箇所に表示すること。 (1) 申請者の名称又はその略号および日本国内の輸入・販売事業者の名称又はその略号 (2) 製造年月若しくは輸入年月又はその略号 (3) 幼児用ベッドは出生後 24 月以内の乳幼児が使用する旨 (4) 支柱に乳幼児の衣服のひも等が引っ掛かることがないように注意すべき旨	事業者情報については、米欧も同等。 欧米は製造年月に加えて、製品を特定できる、モデル番号、在庫番号、カタログ番号、アイテム番号等も明示。 子供が登ろうとし始めるか、身長が 35 インチ (89 cm) に達したらベビーベッドの使用を中止してください (米) o) 落下による怪我を防ぐため、子供がベビーベッドから出られるようになったら、その子供にはベビーベッドをもう使用してはならないという文言。(欧) ひもは窒息の原因になります！子どもの首にフードのひもやおしゃぶりのコードなど、ひもの付いた物を絶対にかけないでく	子供が登ろうとし始めるか、身長が 90 cm に達したら(概ね生後 24 か月以内) ベビーベッドの使用を中止してください (米) (消安法通達(2025 年 2 月 20 日)当部分に応じて修正、あるいは通達を参照)

(5) 止め金具及びねじ類の取り付けが確実にあることを点検すべき旨	ださい。また、製品の上にひもを吊るしたり、ひもをおもちゃに取り付けたりしないでください。 製品を、ブラインドやカーテンのひもで子どもが窒息する可能性のある窓の近くに絶対に置かないでください。 即席のネットやカバーを製品の上に置くと、子どもが閉じ込められ、死亡する恐れがあります。子どもを製品内に閉じ込める目的で、これらの物を絶対に追加しないでください。(米) ひも、ブラインド/カーテンのコードなど、足場になったり、窒息や絞殺の危険がある他の製品の近くにベビーベッドを置かないでください。(欧) 組み立ての前後および使用中は頻繁に、本製品に破損したハードウェア、緩んだ接合部、緩んだボルトやその他のファスナー、欠品部品、または鋭利なエッジがないか確認してください。緩んだボルトおよびその他のファスナーは確実に締めてください。部品に欠損、破損、または損傷がある場合、ベビーベッドを使用しないでくださ	製品に部品の外れ緩み、がたつきなどの問題がないことを確認し、問題があれば製造事業者に連絡すべき旨、また、止め金及びねじ類は製造事業者が指定した部品以外のものを使わないことを追記。
--	---	--

	い。必要に応じて（製造者名を挿入）に連絡し、交換部品および組み立て指示書を手してください。部品の代替は行わないでください。（米） 緩んだり欠けている留め具、緩んだ接合部、破損した部品、または破れたメッシュや布がある場合、この製品を絶対に使用しないでください。組み立て前および使用中に定期的に点検してください。交換部品が必要な場合は、[メーカー名を挿入]にお問い合わせください。部品を代用品で置き換えないでください。（米）	
(6) 前枠で囲まれた面、後枠で囲まれた面および妻枠で囲まれた面との間に隙間のないマットレス又は敷布団等を使用すべき旨	「注意：このベビーベッドに使用するマットレスは、少なくとも 27 1/4 インチ x 51 5/8 インチで、厚さは 6 インチを超えないものに限ります。」または「注意：このベビーベッドに使用するマットレスは、少なくとも 69 x 131 cm で、厚さは 15 cm を超えないものに限ります。」（米：フルサイズベッド） 取り外し可能なマットレスを備えた、剛性のある四角形製品の場合、必ず次のサイズのマットレス/パッドのみを使用してください	マットレスを交換できる場合、使用してよいマットレスに関する寸法、厚み等に関する情報を示すこと、を追記

	い：長さ ____ インチ (____ mm)、幅 ____ インチ (____ mm)、厚さは ____ インチ (____ mm) 以下。マットレスと側壁の間に隙間がないか確認してください。もし隙間が 1 インチ (25 mm) を超える場合は、そのマットレスを使用しないでください。(空欄には 5.17 に準拠する寸法を記入すること。)(米：ノンフルサイズベッド) マットレスの厚さは、ベッドベースの最も低い位置でマットレスの内側の高さ（マットレスの表面からベッドフレームの上端までの高さ）が 500 mm 以上、ベッドベースの最も高い位置で 200 mm 以上である必要があります。この情報は、マットレスがマットレスベースを介して製品の不可欠な部分である折りたたみ式ベッドには適用されず、表示されません。 k) 6 j) の要件がベッド上のマークによって満たされている場合、マークはベッドと一緒に使用されるマットレスの最大厚さを示しているという説明。この情報は、マットレスがマットレスベースを介して製品の不可欠な部分である折りたたみ式ベッドには	
--	---	--

(7) 前枠が開閉式またはスライド式のベッドにあっては、使用を終えたら、前枠を所定の位置に固定する旨および図 1  転落する危険があります 前枠を上げましょう (8) 床板の位置を変更できるベッドにあって	適用されず、表示されません。 1) ベッドと一緒に使用されるマットレスの最小サイズ。寸法は、マットレスのどの位置でもマットレスと側面の端の間に 30 mm を超える隙間がないように考慮する必要があります。この情報は、マットレスがマットレスベースを介して製品の不可欠な部分となっている折りたたみ式ベビーベッドには適用されず、記載されてはなりません。マットレスがマットレスベースを介して製品の不可欠な部分となっている折りたたみ式ベビーベッドの使用説明書には、次の警告を記載する。(米) (メッシュ型の製品では) サイドを下げた状態で乳児を製品に残さないでください。乳児がパッドと緩んだメッシュサイドの間に転がり込み、窒息する可能性があります。(米) 「子供が立ち上がることができるようにな	
---	--	--

は、つかまり立ちができるようになった乳幼児（概ね出生後5か月以上）の睡眠用又は保育に使用する場合には、床板を最低の位置において使用すべき旨および図2



(9) 乳幼児がつかまり立ちできるようになったら（概ね出生後5か月以上）、足がかりとなるものをベッドの中に入れない旨。

ったら、マットレスを最も低い位置に設定してください（米）

側面を上げた後は、ラッチがしっかりと固定されていることを確認してください（固定側面のベビーベッドの場合は省略）。側面が下がった状態で子供をベビーベッドに残さないでください。子供がベビーベッドにいるときは、必ず側面が上がり、ロックされている状態にしてください」（米）

子供が立ち上がることができるようになったら、マットレスを最も低い位置に設定し、バンパーパッド、大きな玩具、その他の登る際の足場になる物を取り除いてください。（米：フルサイズ）

子どもがつかまり立ちできるようになったら、大きなおもちゃやメッシュライナー、他の足場になるような物を取り除いてください。【高さ調節可能なマットレスサポートがある製品の場合、以下の警告文に置き換えてください：子どもがつかまり立ちできるようになったら、マットレスやベースを

(10) マットレス又は敷布団等を使用する際には、乳幼児が容易に柵を乗り越えて落下する高さとならないように注意すべき旨。	最も低い位置に設定し、大きなおもちゃや他の足場になるような物を取り除いてください。】（米：ノンフルサイズ） 製品の側面と間違ったサイズのマットレスまたは追加のパッドとの隙間で柔らかい寝具、パッド、または追加のマットレスを決して追加しないでください。（米） 「このベビーベッドに 2 つ目のマットレスを追加しないでください。窒息の危険があります」「このベビーベッドに 2 つ目のマットレスを追加しないでください。窒息の危険があります」（欧） 「警告：乳児は柔らかい寝具で窒息する可能性があります。枕や掛け布団を追加しないでください。乳児の下に追加のパッドを置かないでください。」（米） 「乳幼児突然死症候群（SIDS）のリスクを減らすために、小児科医は健康な乳児を仰向けに寝かせることを推奨しています。医師の指示がない限り、仰向けに寝かせてください。」（米）	乳幼児が柵を乗り越えるリスク、窒息するリスクがあるため、マットレスを追加しないこと、を追記。 医師の指示がない限り、仰向けに寝かせてください、を追記。 窒息のリスクがあるため、出生後 2 ～12 月の乳児には掛けぶとんを使用しないことが推奨されます、を追記
---	---	---

	即席のネットやカバーを製品の上に置くと、子どもが閉じ込められ、死亡する恐れがあります。子どもを製品内に閉じ込める目的で、これらの物を絶対に追加しないでください。(米) お子さまの安全を確保するため、常に必要な監督を行ってください。遊びに使用する際は、絶対にお子さまを一人にしないでください。【保育施設向けの製品の場合、以下の警告文に置き換えることができます：「ベビーベッドまたはプレイヤード内の子どもは常に監督下に置いてください。」】(米)	ネットやカバーをベビーベッド上でつかわないこと注意する警告を追加
(取扱説明書) 2. 製品には次に示す趣旨の取り扱い上の注意事項を明示した取扱説明書を添付し、製品本体にも 2(3)使用上の注意(a)、(b)および(c)の趣旨を明示すること。 なお、一般消費者が容易に理解できるような図で明示するのが望ましい。ただし(2)、(3)、(4)及び(5)が製品に容易に消えない方法に表示しているものは、(1)を省略してもよい。 (1)取扱説明書は必ず読み、読んだ後は		

(b)床板の高さが調節式の乳幼児用ベッドにあっては、乳幼児がつかまり立ちできるようになったら（概ね出生後5月以上）、床板上面から上さんまでの高さが60cm以上になるように調整すること。 (c) 開閉式又はスライド式にあっては、使用を終えたら、前枠を所定の位置に必ず固定すること。 (d)可動防止装置付きキャスターを有するものにあっては、使用時にはキャスターを固定すること。 (e)敷布団等は、枠との間に隙間を生じないもので、適度な硬さを有するものを使用すること。 (f)乳幼児用ベッドの外側及び内側には、乳幼児が足をかけるようなものを置かないこと。 (g)設置場所は水平、平たんで、ストーブ等危険物の付近で使用しないこと。 (h)ひも類等の危険なものを取り付けないこと。 (i)枠に腰掛けたり、ぶら下がったり、揺さぶったりしないこと。	まれていなければならない。もし、別の説明書シートを使用する場合は、その説明書を製品と一緒に保管する手段を提供すること。 「ベビーベッドを組み立てる前に、すべての説明書をお読みください。説明書は今後のために保管してください。」（米） 前述の警告文をすべて含むこと（米） サイドが下がった状態で子どもを製品に残さないでください。子どもが製品内にいるときは、必ずサイドが上がり、ロックされた状態にしてください。 配送用のプラスチック袋や、目的外のプラスチックフィルムをマットレスカバーとして使用しないでください。窒息の原因となる可能性があります。 この製品にウォーターマットレスを使用しないでください。【製品がウォーターマットレスの使用を許可している場合、この警告は省略してください。】 再仕上げを行う場合は、子ども向け製品に指定された無害な仕上げ剤を使用してくだ	
---	--	--

(j)破損、故障等した状態で使用しないこと。 (k)同時に二人以上で使用しないこと。 (l)乳幼児の頭幅がさんの組み子間及び組み子と支柱の間隔より小さい場合は、十分注意して使用すること。 (4) S Gマーク制度は、乳幼児用ベッドの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度である旨。 また、補償制度の対象となるのは、乳幼児用ベッド本体だけであり、マットレス、ふとん等が付いている場合は、それらは対象外となること。	さい。【製品が再仕上げを想定していない場合、この警告は省略してください。】 「乳児は、ベビーベッドの側面と、小さすぎるマットレスの間の隙間で窒息する可能性があります。」(米) 使用説明書には、次の警告を含める必要があります。 a) 警告: ベビーベッドの近くでは、電気バーの火、ガスの火など、直火やその他の強い熱源の危険に注意してください。 b) 警告: 部品が破損、破れ、または紛失している場合はベビーベッドを使用しないでください。製造元が承認したスペアパーツのみを使用してください。 c) 警告: ベビーベッドの中に何も残さないでください。また、ひも、ブラインド/カーテンのコードなど、足場になったり、窒息や絞殺の危険がある他の製品の近くにベビーベッドを置かないでください。 d) 警告: ベビーベッドにマットレスを 2 枚以上使用しないでください。 使用説明書には、以下の文言を含めるものとする。 e) ベビーベッドはロック機構が作動しているときのみ使用可能であり、折りたたみ式	
---	--	--

(5) 製造業者又は輸入業者若しくは販売業者の名称及び住所並びに電話番号。	ベビーベッドを使用する前にロック機構が完全に作動していることを慎重に確認すること。 f) ベビーベッドのベースの高さが調節可能な場合は、最も低い位置が最も安全であり、赤ちゃんが座れる年齢になったらすぐにその位置で使用すべきであること。 g) 可動側が備えられている場合は、「ベビーベッドに子供を放置する場合は、可動側が常に閉じていることを確認してください」という文言。 h) ベビーベッドのベースを最低位置より上に支えるために取り外し可能なサポートレールが備えられている場合は、ベビーベッドを最低位置で使用する前に必ずこれらのレールを取り外す必要があること。 i) 組み立て図、組み立てに必要なすべての部品と工具のリストと説明、および必要なボルトとその他の固定具の図。(欧) 事業者情報は、欧米ともほぼ同等。	
--	--	--